

# 平成 24 年度（公財）松山観光コンベンション協会

## 事 業 報 告

### I . 事業概要

平成 24 年度は、当協会が「公益財団法人」として新たな一歩を踏み出した年であり、公益財団法人としての使命と社会的責任を自覚し、高い公益性を發揮しながら、まちの魅力である「光」を発信し、観光・物産・コンベンションの振興を図り、松山市・愛媛県の経済活性化により一層努めることを目標に活動を実施しました。

新たな観光資源の発掘および誘客 P R として、松山の「祭り」を取り上げ松山の神輿を集めた「大神輿総練」に協力したほか、松山マドンナ大使による観光 P R 活動や観光客の受け入れ体制の充実を図るために、「観光ボランティアガイド」による新たな松山めぐりコースなど、ソフト面の強化を行いました。

またハード面においては、協会のホームページをリニューアルし、キャラクターを活用することにより親しみやすく、見やすいホームページ作りに努め、毎日 facebook を更新することで訪れる方に対して最新の情報提供に務めました。

物産面におきましては、初の試みとして複合型商業施設のイトーヨーカドーアリオ亀有店（東京都葛飾区亀有）において物産展を開催するとともに、札幌の物産展やインターネットにおけるショッピングサイトを通じて松山ブランドを推進しつつ、「食」の充実を図るための飲食店 MAP の作成など、全国に向けて松山の特産品等の情報発信の拡大を図りました。

コンベンション事業におきましては、「地元誘致懇談会」を開催し、地元コンベンション主催者と賛助会員との情報交流の場を設け、松山でのコンベンション開催の増加に務めたほか、県外への誘致活動においては、ターゲットを絞り、より効率的な誘致および情報提供を行いました。さらに、キーパーソンを招聘するなど、都市間競争に負けないように活動の強化を図りました。

また国際交流事業として、高松と連携して中国教育旅行誘致に務めたほか、広島と連携して韓国インバウンド誘致事業を実施、さらに台湾においては観光キャンペーン及び物産 P R 事業を開催したほか、市政府関係等の招聘などを実施し、海外からの誘客に努めました。

各事業の詳細につきましては、別紙のとおりです。

## II. 公益目的別事業報告

### 1. 観光・物産振興事業（公益目的事業1）

#### （1）「おいでんか松山」観光客誘致促進事業

旅行会社が松山市へ観光客を送客する団体及び個人・小人数向けの旅行商品を企画し、新たなパンフレット等を作成して販売促進活動や販売を行う場合、その経費の一部を助成する。（業種 50 音順）

- ①宇和島運輸株
- ②近畿日本ツーリスト㈱中国四国中国四国メトセンター
- ③㈱ジェイティーピー西日本国内商品事業部中国四国商品企画販売部
- ④㈱ジェイティーピー東日本国内事業部商品事業部
- ⑤瀬戸内海クルーズ㈱
- ⑥トップツアーグループ関西国内旅行センター
- ⑦トップツアーグループ九州国内旅行センター
- ⑧トップツアーグループ中四国国内旅行センター
- ⑨㈱日本旅行赤い風船九州事業部
- ⑩㈱日本旅行赤井風船西日本事業部
- ⑪㈱日本旅行赤い風船西日本事業部広島企画センター
- ⑫㈱農協観光愛媛支店 ⑬㈱フジトラベルサービス（13 業者）



販売店舗数 延べ 11,933 店／印刷部数 1,167,000 部

[参考]	平成 22 年度送客実績	49,287 名
	平成 23 年度送客実績	42,457 名

#### 「おいでんか松山」国際交流に伴う団体旅行者支援事業

松山を訪れる海外からの旅行者に対して、坊っちゃん列車の切符や記念グッズなどを支援。

支援団体：保保旅行社等

#### （2）松山マドンナ大使関連事業

##### 選考会

期日 平成 23 年 12 月 17 日（土）  
応募者 52 名 選考人員 3 名  
場所 松山市総合コミュニティセンター  
主催 (財)松山観光コンベンション協会

2012 年 松山マドンナ大使委嘱式（主催事業）

期日 平成 24 年 4 月 2 日（月）  
場所 (公財)松山観光コンベンション協会  
事務局

派遣件数 54 件

（松山マドンナ大使 2012）



### (3) 観光PR事業（新聞・テレビ・雑誌・車両等によるPRおよびイベント）

#### ① 広告宣伝関連

- ア 伊予鉄道市内電車（低床電車）10車両映像システム（30秒観光CM）
- イ 週刊「観光経済新聞」掲載観光広告 外
- ウ 愛媛FC及び愛媛マンダリンパイレーツの試合会場への広告掲載
- エ 愛媛マラソン手荷物預り袋広告制作

#### ② イベント関連

##### ア 大神輿総練

期　　日　　平成24年5月6日(日)

場　　所　　城山公園（松山市堀之内）

内　　容　　市内の神輿による「かき比べ」を行うことで、松山市の伝統文化である松山の神輿を全国にPRし、松山の魅力を発信する事業に協力した。

今回は、神輿団体22団体が参加したほか、宇和島の「牛鬼」、「琉球國祭り太鼓」の演奏、また「虎舞」などが披露され、会場内には屋台やB級グルメ店なども出店し盛り上がった。

参加神輿　22体



観光案内ブース



桟敷席チケット販売



飲食ブース



水軍太鼓



虎舞



野球サンバ(MOGA)



牛鬼



神輿勢揃い

### (4) 観光キャンペーン事業

#### ① 松山DAY in 神宮球場観光キャンペーン（主催事業）

期　　日　　平成24年5月31日(木)

場　　所　　神宮球場

内　　容　　カラービジョンによるPR（試合開始前、3回裏終了、4回表終了、7回表終了）のぼりの設置、横断幕の掲示、観光ポスターの掲示、ラッキープレゼントの実施、両軍選手代表への花束・記念品贈呈、球団への記念品贈呈、選手への差し入れ、松山市長による始球式、特産品の配布（先着1,000名）愛郷会会員の観戦、テレビによる宣伝



(記念品贈呈)



(モバイルクイズ)



(特産品配布)



(電光掲示板)

## ② 台湾・台北市観光キャンペーン

期　　日　　平成 24 年 10 月 19 日(金)～22 日(月)  
 場　　所　　新北投温泉駅前広場  
 内　　容　　2012 台北温泉まつりに参加。

昨年、北投温泉と道後温泉が友好交流調印を行ったことを契機に、今後ますますの交流を願い、道後温泉旅館協同組合が発起人となり、寄附を集め作製した道後子ども神輿 2 体を台湾側に寄贈し、台湾の小学生に子供神輿を担いでもらいパレードを実施した。

地元のマスコミ等も多数取材に訪れており、テレビや新聞等でもトップニュースで報道された。

今後、子ども神輿 2 体は台北市内各所（松山駅、松山空港、台北市政府など）に友好のシンボルとして展示される。



(松山檢番の踊り)



(子供神輿パレード)



(観光ブース)

## (5) 物産と観光展事業

### ① 松山愛郷会物産展

期　　日　　平成 24 年 10 月 18 日(木)  
 場　　所　　東京都（都市センターホテル）  
 内　　容　　愛郷会会員に対する物産品の預かり販売

### ② 松山の物産と観光展（東京都）

期　　日　　平成 24 年 11 月 14 日(水)～19 日(月)  
 場　　所　　東京都葛飾区亀有（イトヨーカドーアリオ亀有店）  
 内　　容　　東京都での開催は 2 年ぶりであり、イトヨーカドーアリオ亀有店では、初めての開催であった。複合型商業施設での開催も初の試みであったため、周辺の主婦をターゲットに事前告知を行うとともに、早生みかんやみかんジュースの販売、「みかんジュース蛇口」など、愛媛で最もイメージの強い「みかん」を活用し、松山の P R に努めた。

また、「お楽しみ抽選会」も実施し、会場は常時、来場者で賑わった。



(みかんジュース蛇口)



(お楽しみ抽選会)



(会場内様子)



(会場内様子 2)

### ③ 松山の物産と観光展（札幌）

期　　日　　平成 25 年 2 月 21 日(木)～2 月 27 日(水)  
場　　所　　札幌市（さっぽろ東急百貨店）  
内　　容　　表敬訪問（札幌市、札幌市市政記者クラブ）  
　　　　　　訪問宣伝（札幌市内の旅行会社 5 社）  
　　　　　　新聞・雑誌等による宣伝、テレビスポットによる宣伝、テレビ出演による宣伝  
全 36 業者、約 460 品目の展示、実演即売、茶屋の開設  
さっぽろ東急百貨店 40 周年記念特別イベントとして、  
蛇口から出る「みかんジュース」の設置や、坊っちゃん団子の手作り  
体験コーナー、えひめスイーツコンテスト 2012 プロ部門で、  
グランプリを受賞したお菓子等の特別限定商品の販売、  
「四国霊場八十八ヶ所」のパネル展、主要観光施設のパネル展、  
観光バナーの設置、観光俳句ポストや各店舗にゆかりの子規俳句  
バナーの設置、松山マドンナ大使の派遣、街頭宣伝などを実施



(表敬訪問)



(開展式)



(蛇口からみかんジュース)



(会場内風景)

### （6）パンフレット等の作成頒布事業

- |                      |          |
|----------------------|----------|
| ① 指差観光案内パンフレット（英語版）  | 10,000 枚 |
| ② 指差観光案内パンフレット（繁体字版） | 10,000 枚 |
| ③ 松山城                | 500 冊    |
| ④ 瀬戸のまつやま「海ごはん」MAP   | 10,000 枚 |



## (7) 案内所運営事業

- ① 松山城東雲口駅舎1階案内所
- ② 道後観光案内所（委託業務）
- ③ JR松山駅松山市観光案内所（委託業務）
- ④ 松山観光港ターミナル観光案内所（委託業務）

観光案内業務	件 数	62,145 件
松山観光レンタサイクル事業(道後観光案内所)	件 数	913 件
松山観光レンタサイクル事業(松山城東雲口駅舎1階)	件 数	700 件

## (8) 松山観光ボランティアガイド事業

- ① ボランティア活動報告



1. 案内コース	道後周辺	松山城	坂の上の雲ミュージアム周辺
2. 案内日	毎日（年末年始除く）	毎日（年末年始除く）	土日祝（年末年始除く）
3. 案内時間	9:30～12:00 13:30～16:00（土日祝のみ）	9:00～12:00 13:00～16:00	9:30～12:30 13:00～16:00
4. ガイド人数	平日 2名 土日祝 4名	1日 4名 土日祝 10名	平日 2名 土日祝 6名
5. 登録人数	173名		
6. 案内件数	1,633件	4,094件	2,541件
7. 案内人員	5,276人	16,366人	6,885人

- ② ボランティア募集事業

ふるさとふれあい塾～松山観光文化コンシェルジェ講座～

主 催 松山商工会議所・松山大学・(社)愛媛県観光物産協会・松山市  
(公財)松山観光コンベンション協会

開講期間 平成24年9月26日(水)～平成24年12月19日(水) (全15回)

場 所 松山大学 (松山市文京町4-2)

受 講 者 一般 79名・大学生 37名 計116名

## 2. コンベンション事業（公益目的事業2）

### (1) 誘致促進事業

#### ① 誘致セールス活動の実施

松山市において開催可能性のあるコンベンションの主催者を対象に、県外では主に東京方面への誘致宣伝活動を実施した。

また、誘致活動経験及び実績のある職員を受け入れ、松山市内外にある地元主催者への誘致宣伝活動を積極的に実施した。（別紙資料3）

首都圏： 56団体

県 内： 85団体

#### ② 第22回国際ミーティング・エキスポ（IME2012の参加（出展））

会 期 平成24年12月11日（火）～12日（水）

会 場 東京国際フォーラム（東京都有楽町）

主 催 観光庁、日本政府観光局（JNTO）

日本コングレス・コンベンション・ビューロー（JCCB）

概 要 コンベンション主催者とコンベンション受入側（都市・コンベンションビューロー等関係団体）が一堂に会し、コンベンション開催に関する情報や商談を行う、我が国唯一のコンベンション・トレードショーで、出展者数は120団体、入場者数は約3,200人だった。

昨年に引き続き、高松、徳島と協同でブース設営をし、今回初めてインパクトのある写真をバックパネルに取り入れ、「四国」を全面に押し出した中、松山ブースについては、コンベンション支援パンフレットや主要コンベンション施設ガイドの他、松山市を中心とした愛媛県内の観光パンフレットを配布するとともに、DVD映像で主催者により一層松山をPRした。

また、地酒やタルトの提供、ミカンジュース、坊っちゃん団子等物産の紹介および配布を行い、来場者の注目を集めるとともにコンベンション誘致活動を積極的に行なった。



（開会式）



（ブース内）



（商談風景）

#### ③ 誘致懇談会の開催

##### ア 中国・四国地区コンベンション推進協議会事業

中国・四国地区のコンベンション推進団体13で構成する協議会であり、相互に交流し、事業の円滑な遂行を図ることを目的とし、年に1度、東京での誘致懇談会の開催や、国際ミーティング・エキスポにおける共同装飾などを実施している。

##### ・中国・四国地区コンベンション推進協議会総会の開催

開催日 平成24年6月21日（木）～22日（金）

会 場 アスティとくしま（徳島）  
出席者 13団体30名

- ・第18回中国・四国地区コンベンション誘致懇談会の開催  
開催日 平成25年2月7日（木）  
会 場 ANAインターコンチネンタルホテル東京  
東京都港区赤坂1-12-33  
主 催 中国・四国地区コンベンション推進協議会  
概 要 コンベンション主催者約136名と中国・四国地区コンベンション推進協議会関係者70名の合計206名が一堂に会し、コンベンションに関する情報の交換を行い、中国・四国地区でのコンベンション開催を積極的に働きかける等、盛会のうちに終了した。



(ブース)



(商談風景)



(会場内様子)

#### イ 地元誘致懇談会

開催日 平成25年2月4日（月）  
会 場 松山全日空ホテル  
概 要 地域活性化の切り札としてのMICEセミナーの実施、合わせて大学関係、企業、行政のコンベンション主催者を招待し、各分野の専門知識を有する賛助会員との間で、ビジネスチャンスの場を提供する為に開催。地元でも学会、大会の企画、運営をサポートできることをPRし、コンベンション主催者と賛助会員が直接面談できる場を設定することで賛助会員にもメリットを提供した。  
セミナー 「MICEの現状とJNTOの取り組み」  
講師：日本政府観光局 コンベンション誘致部長 蟹川 彰 氏



(セミナー)



(会場風景)



(郷土芸能の紹介)

#### ④ 海外からの誘致促進事業

##### ア 台湾招聘事業

- ・台湾台北市政府招聘

日時 平成24年4月5日（木）～4月8日（日）

内容　　外交部亞東關係協會黃秘書長、台北市觀光傳播局趙局長ほか旅行会社を含む計10名を「松山春まつり」に招聘し、野球拳大会への参加や大名列などを見学するとともに松山市内を観光した。また知事、市長、経済界等関係者との交流会を実施した。



野球拳参加



観光視察



市長表敬



レセプション

イ 韓国インバウンド事業

日時　　平成24年7月4日（水）～7月6日（金）

内容　　KOREA MICE EXPOへの参加及び韓国旅行業者セミナー開催



松山ブース



商談風景



セミナー

ウ 中国訪日教育旅行誘致事業

日 時　　平成24年8月19日（日）～8月23日（木）

内 容　　中国（南京市）の教育関係者、旅行会社及びメディアを招請し、四国の歴史・文化等を学習・体験できる施設等を中心とした視察ツアーの受入。

## （2）開催支援事業

### ① 開催助成金制度

愛媛県内へのコンベンション誘致を推進し、コンベンション振興を図るため、県内で開催されるコンベンションに対し、交付した。

交付件数　　39件（平成23年度：39件）

交付総額　　14,220,000円（平成23年度：11,950,000円）

（詳細は別紙資料4参照）

### ② 歓迎用看板等の掲出

国際会議および全国規模（参加者1,000人以上が原則条件）のコンベンションを対象に、松山空港ビルに看板・パネルを掲出表示。歓迎の意を表することで、参加者に対し当地の良いイメージを持っていただき、来松のリピート効果を上げるために実施した。

掲出実績　　松山空港ビル　　6件（別紙参照）

### ③ 支援グッズの作成

- ・「松山シティガイド」（ようおいでたなもし）の発行

アフターコンベンション用ブックとして、食べ飲み歩きMAPと文化観光施設等割引入場券を一緒にした形で発行。コンベンション参加者に提供した。

発行部数 30,000部

- ・ナイロン製アームバッグの作成

コンベンション参加者の支援用として作成配布した。

作成枚数 50,000部

### ④ サポートスタッフの派遣、育成

コンベンションボランティア（会議時における受付・クローケ、通訳等）に対し、研修会の開催および各種研修会の案内を行った。

- ・コンベンションボランティア研修会の開催

日 時 平成25年3月18日（月）

場 所 伊予鉄会館

内 容 コンベンションボランティアの学習と交流

講演テーマ：地域資源を活かした観光まちづくり

「今こそ、道後百年の“景”」

講 師：道後温泉誇れるまちづくり推進協議会

会長 宮崎 光彦 氏

- ・各種研修会の案内

- ・韓国語入門講座の開催案内

（主催：松山商工会議所 他）

- ・英語入門講座の開催案内

（主催：愛媛県国際観光テーマ地区推進協議会 他）

- ・中国語入門講座の開催案内

（主催：松山市 他）

### ⑤ その他

- ・コンベンションガイド松山の提供

誘致用パンフレットとして、コンベンション主催者に提供した。

提供部数 約 500部

## （3）調査・研究事業

### ① 経済波及効果調査

- ・平成23年度コンベンション統計の作成

平成23年度に県内で開催されたコンベンションの件数・人数また経済波及効果の調査結果をまとめた資料を作成した。

〈概要〉 コンベンション客 1,139,344人

推定消費額 72億円

## ② コンベンション調査

### ア 平成24年度コンベンションカレンダーの発行

平成24年度に県内で開催されるコンベンションを記載したもので、賛助会員並びに大学関係者等に配布した。(発行部数：2,000部)

### イ アンケート調査の実施

コンベンション参加者を対象に、参加地区・利用交通機関・訪問観光地・宿泊ほか参加経費等について調査を行い、経済波及効果測定等の基礎資料とした。

### ウ コンベンションビューロー部会

JCCB会員（7部会108会員）のうち、コンベンションビューローの会員（67団体）で組織する部会において、コンベンションの振興を図る上での課題等を検討、協議する会。

#### ・第1回コンベンションビューロー部会出席

開催日 平成24年5月17日（木）～5月18日（金）

会場 郡山市

出席者 42団体60名

#### ・第2回コンベンションビューロー部会出席

開催日 平成24年10月18日（木）～10月19日（金）

会場 富士市

出席者 41団体50名

### エ 平成24年度JCCB総会

開催日 平成24年6月11日（月）

会場 京王プラザホテル

### オ 四国地区観光コンベンション推進団体情報交換会出席

四国地区的コンベンション推進5団体（高松、徳島、鳴門、高知、松山）で構成し、「四国」として共同誘致や事業等を推進していくための会

#### <第1回>

開催日 平成24年7月11日（水）

会場 高松港旅客ターミナル

#### <第2回>

開催日 平成24年10月10日（水）

会場 アスティとくしま

## ③ 管理システムの運用

コンベンションの誘致・支援活動の状況や、キーパーソンに関する情報等を管理し、効率的な誘致・支援につなげるためのシステム運用

#### ・支援を行った大会等

支援件数 152件（平成23年度：136件）

資料配付数 52,806部（平成23年度：47,940部）

看板掲出数 6件（平成23年度：9件）

（詳細は別紙資料4参照）

### III. 収益事業報告

#### 1. 広告料収入事業

##### (1) 松山城ロープウェイ駅舎3階壁面広告

広告期間 平成24年4月1日～平成25年3月31日  
広告掲載業者 10業者

##### (2) 物産陳列ケース広告

展示期間 平成24年4月1日～平成25年3月31日  
展示業者 23業者

##### (3) 松山城ロープウェイ・ゴンドラ内広告

広告期間 平成24年4月1日～平成25年1月15日  
広告掲載業者 8業者

##### (4) (公財)松山観光コンベンション協会ホームページナー広告

広告期間 平成24年4月1日～平成25年3月31日  
広告掲載業者 17業者(うち、1業者は4月～9月まで掲載)

##### (5) 松山特產品ホームページショッピングサイト

ホームページ掲載企業 21社 出品数 53品 注文件数 5件

#### 2. 手数料収入事業

##### (1) 案内所での記念グッズ販売による手数料

㈱ポニーキャニオン DVD・ブルーレイ「坂の上の雲」販売	販売数	0 枚
佐川印刷㈱絵はがき・一筆箋・メモ帳販売	販売数	105 冊
佐川印刷㈱自動販売機(絵はがき・ガチャポン)販売	販売数	949 個
愛媛新聞サービスセンター書籍販売	販売数	13 冊
㈱エス・ピー・シー書籍販売	販売数	52 冊
㈱エーシー松山オリジナルグッズ販売	販売数	1,030 個
松山はいくチケット販売	販売数	95 枚

##### (2) 自動販売機での飲料販売による手数料

設置業者 大塚製薬㈱・四国乳業㈱・四国コカ・コーラボトリング㈱  
売上本数 27,717本

(3) 松山城メダル販売による手数料

メダル等販売数 8, 542個

刻印機利用数 2, 606回

### 3. 販売収入事業

(1) 名刺台紙販売

販売数 312個

(2) 図書販売

販売数 1, 881冊

(3) ハンドタオル販売

道後温泉足湯タオル販売数 1, 162枚

松山城ハンドタオル販売数 125枚

(4) オリジナルグッズ販売

記念バッジ販売数 75個

紙袋販売数 4, 673枚

オリジナルキャップ販売数 7個

オリジナルボールペン 571本

オリジナルうちわ 168本

## IV. その他管理事業等

### 1. 機関紙作成

年2回各4,000部を発行し、全国のコンベンション推進団体及び賛助会員に配布した。

### 2. ホームページ及び電子パンフレット運営業務

[参考] ユーザー訪問(ページビュー)数 約 720,437件 (平成23年度:666,833件)

### 3. 新規会員の確保

新規加入 18件  
会員 386件(3月31日現在)

### 4. 会議開催

理事会・評議員会の開催を隨時行うほか、各専門委員会（企画開発委員会・誘客促進委員会・観光物産振興委員会）を必要に応じ適宜開催した。

#### (1) 理事会

内容については別紙資料1  
①期 日 平成24年5月28日(月)  
場所 松山ワシントンホテルプラザ  
②期 日 平成24年6月14日(木)  
※ 書面評決  
③期 日 平成24年10月30日  
※ 書面評決  
④期 日 平成25年3月27日(水)  
場所 松山全日空ホテル

#### (2) 評議員会

内容については別紙資料1  
①期 日 平成24年6月13日(水)  
場所 伊予鉄会館  
②期 日 平成24年11月14日(水)  
※ 書面評決

### (3) 各専門委員会

内容については別紙資料2

#### ①観光物産振興委員会

期　　日　　平成24年9月3日（月）

場　　所　　NBF松山日銀前ビル 4階 第1会議室

#### ②誘客促進委員会

期　　日　　平成24年9月6日（木）

場　　所　　松山市青少年センター 3階 大ホール

#### ③企画開発委員会

期　　日　　平成24年9月10日（月）

場　　所　　NBF松山日銀前ビル 4階 第1会議室

## 5. 共催・協賛事業

### (1) 第42回奥道後皐月展

期　　日　　平成24年5月19日（土）～6月10日（日）

主　　催　　愛媛皐月協会

### (2) 第10回JABA子規記念杯野球大会

期　　日　　平成24年5月12日（土）～5月13日（日）

主　　催　　愛媛県野球連盟

### (3) 第62回松山港まつり・三津浜花火大会（協賛事業）

期　　日　　平成24年8月5日（日）

主　　催　　松山港まつり振興会

### (4) 松山城夏まつりイベント「光の城」真夏のタベコンサート（共催事業）

期　　日　　平成24年8月11日（土）

主　　催　　松山市、伊予鉄道（株）松山城総合事務所

### (5) いもたき事業（共催事業）

#### ・出合橋下河川敷

期　　日　　平成24年9月1日（土）～10月10日（水）

主　　催　　観光松山いも炊き会・（公財）松山観光コンベンション協会

参　加　者　　6,487名

### (6) 「松山を楽しもうキャンペーン～城山公園オータムフェスティバル2012」（共催事業）

期　　日　　平成24年9月～11月

主　　催　　城山公園オータムフェスティバル2012実行委員会

(7) プロテイン・アイランド・松山 国際シンポジウム2012（共催事業）

期　　日　　平成24年9月17日（月・祝）・25日（木）

主　　催　　プロテイン・アイランド・松山 国際シンポジウム実行委員会

(8) 第44回奥道後大菊花展

期　　日　　平成24年10月20日（土）～11月25日（日）

主　　催　　西日本菊花芸術協会

(9) 坊っちゃんランランラン大会

期　　日　　平成24年12月8日（土）

主　　催　　坊っちゃんランランラン大会実行委員会

(10) 松山城「初日の出」イベント（共催事業）

期　　日　　平成25年1月1日（火）

主　　催　　松山市、伊予鉄道（株）松山城総合事務所

(11) 第51回愛媛マラソン

期　　日　　平成25年2月9日（土）～10日（日）

主　　催　　愛媛陸上競技会、南海放送、愛媛新聞社、松山市

(12) 愛媛調理製菓専門学校「料理作品展2013」（協賛事業）

期　　日　　平成25年2月11日（月・祝）

主　　催　　愛媛調理製菓専門学校

(13) 坊っちゃんカップ・第6回道後温泉卓球大会（共催事業）

期　　日　　平成25年2月26日（火）～28日（木）

主　　催　　公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団

# 貸借対照表

平成25年3月31日現在

一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	46,259,583		
未 収 金	40,919,082		
流動資産合計	87,178,665		
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基 財 ・ 預 金 債 権	321,000,000		
投 資 有 價 証 券	200,000,000		
基本財産合計	521,000,000		
(2) 特定資産			
退 職 給 与 引 当 預 金	3,553,761		
特定資産合計	3,553,761		
(3) その他固定資産			
電 話 加 入 権	149,968		
什 器 備 品	71,502		
その他固定資産合計	221,470		
固定資産合計	524,775,231		
資産合計	611,953,896		
II 負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	49,532,891		
流動負債合計	49,532,891		
2. 固定負債			
退 職 給 付 引 当 金	24,916,503		
固定負債合計	24,916,503		
負債合計	74,449,394		
III 正味財産の部			
1. 基金	0		
基金	0		
2. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0		
3. 一般正味財産			
(1)代替基金	0		
(2)その他一般正味財産	537,504,502		
一般正味財産合計	537,504,502		
正味財産合計	537,504,502		
負債及び正味財産合計	611,953,896		

※ 公益法人会計基準の運用指針(改正平成21年10月16日)内閣府公益認定等委員会

附則「1. 適用初年度における前事業年度の財務諸表の記載について」

貸借対照表、正味財産増減計算書の前事業年度の数値については、記載しないことができる。

# 正味財産増減計算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
<b>(1) 経常収益</b>			
<b>基本財産運用益</b>	1,203,816		
<b>基本財産利息収入</b>	1,203,816		
<b>特定資産運用益</b>	0		
<b>特定資産運用収入</b>	0		
<b>受取入会金</b>	0		
<b>受取入会金収入</b>	0		
<b>受取会費</b>	12,300,000		
<b>賛助会員会費収入</b>	12,300,000		
<b>事業収益</b>	8,530,894		
<b>広告料収入</b>	1,872,800		
<b>手数料収入</b>	1,847,629		
<b>販売収入</b>	1,757,581		
<b>観光PR事業収入</b>	485,800		
<b>物産と観光展手数料収入</b>	2,567,084		
<b>受取補助金等</b>	151,413,000		
<b>市補助金等収入</b>	151,413,000		
<b>受取負担金</b>	1,000,000		
<b>負担金収入</b>	1,000,000		
<b>受取寄付金</b>	0		
<b>受取寄付金収入</b>	0		
<b>雑収益</b>	222,367		
<b>受取利息</b>	13,604		
<b>雇用保険料預り金</b>	208,763		
<b>経常収益計</b>	174,670,077		
<b>(2) 経常費用</b>			
<b>事業費</b>	158,917,939		
<b>報酬</b>	591,531		
<b>給料手当</b>	23,492,815		
<b>退職給付費用</b>	15,528,912		
<b>福利厚生費</b>	8,117,675		
<b>臨時雇賃金</b>	4,082,804		
<b>会議費</b>	2,973,558		
<b>旅費交通費</b>	12,022,106		
<b>通信運搬費</b>	7,399,580		

什器備品減価償却費	23,834
消耗品費	12,196,701
印刷製本費	5,857,575
諸謝金	7,089,220
報償費	600,000
委託費	20,046,333
負担金支出	1,796,986
広告宣伝費	9,869,645
賃借料	3,858,967
修繕費	129,990
保険料	258,360
燃料費	0
光熱水料費	61,644
助成金支出	22,732,000
調査研究費	0
雑費	187,703
管理費	32,573,743
役員報酬	3,603,707
給料手当	12,940,775
福利厚生費	3,350,033
臨時雇賃金	0
退職給付費用	5,833,830
会議費	149,198
旅費交通費	0
交際費	0
通信運搬費	1,648,014
消耗品費	1,677,072
印刷製本費	518,700
諸謝金	0
委託費	651,735
負担金支出	543,100
賃借料	942,118
修繕費	72,593
保険料	55,940
燃料費	66,989
光熱水料費	475,739
租税公課	43,900
減価償却費	0
支払寄付金	0
支払利息	0
有価証券運用損	0
雑費(予備費含まない)	300

経常費用計	191,491,682		
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 16,821,605		
基本財産評価損益等	0		
特定資産評価損益等	0		
投資有価証券評価損益等	0		
評価損益等計	0		
当期経常増減額	△ 16,821,605		
<b>2. 経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益			
雑収益	0		
経常外収益計	0		
(2) 経常外費用			
退職給付費用			
経常外費用計	0		
当期経常外増減額	0		
他会計振替額	0		
当期一般正味財産増減額	△ 16,821,605		
一般正味財産期首残高	554,326,107		
一般正味財産期末残高	537,504,502		
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
受取補助金等	0		
一般正味財産への振替額	0		
当期指定正味財産増減額	0		
指定正味財産期首残高	0		
指定正味財産期末残高	0		
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>537,504,502</b>		

**平成24年度正味財産増減計算書(内訳表)**

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引控除	合計
	公1 (観光・物産)	公2 (コンベンション)	共通	小計	収1(販売等)	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益	0	0	1,203,816	1,203,816	0	0	0	0	0	1,203,816
基本財産利息収入			1,203,816	1,203,816			0			1,203,816
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産運用収入				0			0			0
受取入会金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取入会金収入				0			0			0
受取会費	0	0	12,300,000	12,300,000	0	0	0	0	0	12,300,000
贊助会員会費収入			12,300,000	12,300,000			0	0		12,300,000
事業収益	3,052,884	607,450	0	3,660,334	4,870,560	0	4,870,560	0	0	8,530,894
広告料収入				0	1,872,800		1,872,800			1,872,800
手数料収入				0	1,847,629		1,847,629			1,847,629
販売収入		607,450		607,450	1,150,131		1,150,131			1,757,581
観光PR事業収入	485,800			485,800			0			485,800
物産と観光展手数料収入	2,567,084			2,567,084			0			2,567,084
受取補助金等	79,794,651	35,430,642	0	115,225,293	0	0	0	36,187,707	0	151,413,000
市補助金等収入	79,794,651	35,430,642		115,225,293			0	36,187,707		151,413,000
受取負担金	0	0	1,000,000	1,000,000	0	0	0	0	0	1,000,000
負担金収入			1,000,000	1,000,000			0			1,000,000
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金収入				0			0			0
雑収益	0	0	13,604	13,604	0	0	0	208,763	0	222,367
受取利息			13,604	13,604			0			13,604
雇用保険料預り金				0			0	208,763		208,763
<b>経常収益計</b>	<b>82,847,535</b>	<b>36,038,092</b>	<b>14,517,420</b>	<b>133,403,047</b>	<b>4,870,560</b>	<b>0</b>	<b>4,870,560</b>	<b>36,396,470</b>	<b>0</b>	<b>174,670,077</b>
(2) 経常費用										
事業費	104,817,302	45,747,024	4,757,942	155,322,268	3,595,671	0	3,595,671		0	158,917,939
報酬				591,531	591,531			0		591,531
給料手当	12,033,961	9,459,515	1,999,339	23,492,815				0		23,492,815
退職給付費用	13,095,417	2,433,495		15,528,912			0			15,528,912
福利厚生費	3,307,178	2,372,307	2,167,072	7,846,557	271,118		271,118			8,117,675
臨時雇賃金	2,040,837			2,040,837	2,041,967		2,041,967			4,082,804
会議費	498,150	2,475,408		2,973,558			0			2,973,558
旅費交通費	7,651,240	4,370,866		12,022,106			0			12,022,106
通信運搬費	7,076,774	322,806		7,399,580			0			7,399,580
什器備品減価償却費				0	23,834		23,834			23,834
消耗品費	7,302,255	4,418,124		11,720,379	476,322		476,322			12,196,701
印刷製本費	3,667,800	1,903,125		5,570,925	286,650		286,650			5,857,575
詣謝金	6,496,937	592,283		7,089,220			0			7,089,220
報償費	600,000			600,000			0			600,000
委託費	18,316,453	1,729,880		20,046,333			0			20,046,333
負担金支出	392,707	1,404,279		1,796,986			0			1,796,986
広告宣伝費	9,869,645			9,869,645			0			9,869,645
賃借料	3,424,831	0		3,424,831	434,136		434,136			3,858,967
修繕費	129,990			129,990			0			129,990
保険料	235,820	22,540		258,360			0			258,360
燃料費				0			0			0
光熱水料費	0			0	61,644		61,644			61,644
助成金支出	8,512,000	14,220,000		22,732,000			0			22,732,000
調査研究費	0			0			0			0
雑費	165,307	22,396		187,703			0			187,703

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引控除	合計
	公1 (観光・物産)	公2 (コンベンション)	共通	小計	収1(販売等)	共通	小計			
管理費								32,573,743	0	32,573,743
役員報酬								3,603,707		3,603,707
給料手当								12,940,775		12,940,775
福利厚生費								3,350,033		3,350,033
臨時雇賃金								0		0
退職給付費用								5,833,830		5,833,830
会議費								149,198		149,198
旅費交通費								0		0
交際費								0		0
通信運搬費								1,648,014		1,648,014
消耗品費								1,677,072		1,677,072
印刷製本費								518,700		518,700
諸謝金								0		0
委託費								651,735		651,735
負担金支出								543,100		543,100
貢借料								942,118		942,118
修繕費								72,593		72,593
保険料								55,940		55,940
燃料費								66,989		66,989
光熱水料費								475,739		475,739
租税公課								43,900		43,900
減価償却費										0
支払寄付金										0
支払利息										0
有価証券運用損										0
雑費(予備費含まない)								300		300
<b>経常費用計</b>	<b>104,817,302</b>	<b>45,747,024</b>	<b>4,757,942</b>	<b>155,322,268</b>	<b>3,595,671</b>	<b>0</b>	<b>3,595,671</b>	<b>32,573,743</b>	<b>0</b>	<b>191,491,682</b>
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 21,969,767	△ 9,708,932	9,759,478	△ 21,919,221	1,274,889	0	1,274,889	3,822,727	0	△ 16,821,605
基本財産評価損益等				0				0		0
特定資産評価損益等				0				0		0
投資有価証券評価損益等				0				0		0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 21,969,767	△ 9,708,932	9,759,478	△ 21,919,221	1,274,889	0	1,274,889	3,822,727	0	△ 16,821,605
<b>2. 経常外増減の部</b>								0		
(1) 経常外収益								0		
雑収益					0			0		0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								0		
退職給付費用					0			0		0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額			268,939	268,939		△ 268,939	△ 268,939			0
当期一般正味財産増減額	△ 21,969,767	△ 9,708,932	10,028,417	△ 21,650,282	1,274,889	△ 268,939	1,005,950	3,822,727	0	△ 16,821,605
一般正味財産期首残高	11,098,242	4,109,430	536,786,881	551,994,553	1,277,575		1,277,575	1,053,979		554,326,107
一般正味財産期末残高	△ 10,871,525	△ 5,599,502	546,815,298	530,344,271	2,552,464	△ 268,939	2,283,525	4,876,706	0	537,504,502
<b>II 指定正味財産増減の部</b>								0		
受取補助金等					0			0		0
一般正味財産への振替額					0			0		0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高					0			0		0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>△ 10,871,525</b>	<b>△ 5,599,502</b>	<b>546,815,298</b>	<b>530,344,271</b>	<b>2,552,464</b>	<b>△ 268,939</b>	<b>2,283,525</b>	<b>4,876,706</b>	<b>0</b>	<b>537,504,502</b>

# 財産目録

平成25年 3月31日現在

一般会計

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金	手元保管	つり銭準備金として	130,000
	預金	普通預金	運転資金として	46,129,583
		普通(伊予銀行)		24,786,750
		普通(愛媛銀行)		10,374,144
		普通(愛媛信用金庫)		7,241,596
		普通(県信漁)		443,507
		普通(県信連)		744,359
		普通(預り金)		424,895
		普通(書籍)		486,300
		普通(グッズ精算)		102,052
		普通(メダル)		928,182
		普通(物産)		597,798
	未収金			40,919,082
	会費収入			10,000
	販売収入			190,862
	手数料収入			48,200
	物産収入			40,670,020
流動資産合計				87,178,665
(固定資産)				
基本財産				
	基財・預金債権			321,000,000
	定期(伊予銀行)			10,000,000
	定期(愛媛銀行)			100,000,000
	定期(愛媛信用金庫)			56,000,000
	定期(県信漁)			10,000,000
	定期(伊予銀行)			145,000,000
	投資有価証券			200,000,000
	有価(伊予銀行)			200,000,000
特定資産				
	退職給与引当預金			3,553,761
	伊予銀行(普通)			3,553,761
その他固定資産				
	電話加入権			149,968
	什器備品			71,502
	収益目的保有財産	松山城ロープウェイ駅舎3階	物産陳列ケース	71,502
固定資産合計				524,775,231
資産合計				611,953,896
(流動負債)				
	未払金			49,532,891
	未払金			49,532,891
流動負債合計				49,532,891
(固定負債)				
	退職給付引当金			24,916,503
固定負債合計				24,916,503
負債合計				74,449,394
正味財産				537,504,502

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券…購入時の取得価額によっている。なお、取得価額と債券金額との差額について重要性が乏しいため、償却原価法は採用していない。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

什器備品について、定率法の直接法により減価償却を行っている。(償却率:0.25)

#### (3) リース取引の処理方法について

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

#### (4) 引当金の計上基準

退職給付引当金…職員の退職給付に備えるため、期末退職給与の自己都合用支給額に相当する金額を計上している。

#### (5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
<b>基本財産</b>				
基材・預金債権	321,000,000	0	0	321,000,000
投資有価証券	200,000,000	0	0	200,000,000
小計	521,000,000	0	0	521,000,000
<b>特定資産</b>				
退職給付引当資産	3,553,761	0	0	3,553,761
小計	3,553,761	0	0	3,553,761
合計	524,553,761	0	0	524,553,761

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
<b>基本財産</b>				
基材・預金債権	321,000,000	0	(321,000,000)	( - )
投資有価証券	200,000,000	0	(200,000,000)	( - )
小計	521,000,000	0	(521,000,000)	( - )
<b>特定資産</b>				
退職給付引当資産	3,553,761	0	0	(3,553,761)
小計	3,553,761	0	0	(3,553,761)
合計	524,553,761	0	(521,000,000)	(3,553,761)

#### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位:円)

什器備品	取得価額	当期償却額	減価償却累計額	当期末残高
電話加入権	149,968	0	0	149,968
什器備品	547,050	23,834	475,548	71,502
合計	697,018	23,834	475,548	221,470

#### 5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
国債	200,000,000	200,124,000	124,000

#### 6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
運営補助金	松山市	0	151,413,000	151,413,000	0	一般正味財産

## 附 屬 明 細 書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に記載しているため、省略する。

### 2. 引当金の明細

財務諸表の注記に記載しているため、省略する。